

Npop'n えぬぽっぴん

VOL.137

NPO POP NEWS=(略して)『Npop'n』

新宿NPO協働推進センターから、社会貢献活動に関連したPOPなNEWS(話題)をお伝えします！

NPOのスタートアップ&リスタートはどう進めれば良いのか？

社会課題の解決のために、NPOを設立して取り組もうとしている方や、組織を立て直して再スタートしようとしている方を対象に、NPOの設立・運営、資金調達や専門スキルを持った人材の確保等について支援している団体からその取組や事例の紹介をしていただきました。また、登壇者や参加者との間で今後の展望や可能性について質疑、意見交換をし、交流を深めました。

◆登壇者/登壇団体

朝比奈 信弘 氏

(一般社団法人東京都中小企業診断士協会 ソーシャルビジネス研究会 副代表)

岩元 暁子 氏

(認定NPO法人日本ファンドレイジング協会 ファンドレーザー育成事業部 ディレクター)

中川 寛允 氏 (認定NPO法人サービスgrant)

◆ファシリテーター

山下 馨 氏 (一般社団法人新宿NPOネットワーク協議会 代表理事)



◎事例紹介① 朝比奈 信弘(あさひな のぶひろ) 氏

「コロナ禍の中で活動を中止する、助成が終了すると活動が止まってしまう団体が多く、ど77うしたら自走できるかを考えて欲しい。」という要請が新宿区からあり、2021年から区と一緒に伴走支援をしています。具体的な事例を2つ紹介します。いー

◆事例1：子ども食堂を運営している団体の事例です。課題は代表だけが頑張っているという点でした。仲間集めのために代表の熱意などを丁寧に発信することとして、「ふるさと兼業」の伴走支援を利用しました。3人が参加し、その中の1人は現在も手伝ってくれています。活動の中身も変わり、子ども食堂に来る家族も増えています。色々な人から助けを得てステップアップした好事例でした。

◆事例2：引きこもりの当事者や家族支援のNPO法人の事例です。20数年の歴史とノウハウを持つ団体でしたが、活動の内容や実績が知られていないことが課題でした。このため、①実績のデータ化(活動成果を整理、言語化)、②データの可視化(ホームページを活用)、③具体的な行動計画(行政等に信頼を積み重ね、支援を獲得)の3つで進めました。活動内容が可視化され、団体の信用度が上がりました。この結果、区から助成金を得て講演会を開催し、さらには東京都との連携にも成功するなど、以前から模索していた行政連携ができています。

◎事例紹介② 岩元 暁子(いわもと あきこ) 氏

団体のスタートアップやリスタートのためにはファンドレイジングの考え方を実践することが有効だと思います。

(1)ファンドレイジングとは？

「NPO等が、活動のための資金を個人、法人、政府などから集める行為の総称号」です。社会課題解決の活動では受益者負担原則が成立しないので、支援者から寄付等を得て活動経費を賄う必要があります。支援者、NPO、受益者の3つの関係を上手に描きます。資金の特性に応じてバランスよく集めることが大切です。



朝比奈氏



岩元氏

成功の秘訣は、団体の活動への共感をマネジメントすることです。「共感して応援したいという気持ち」、そういった人への「発信」、これらが結び付いて寄付などの形になります。「ファンド・レイジング」は「フレンドレイジング」や「ファン“度”レイジング」なのです。資金を集めるプロセスの中で仲間を集めることで社会課題の解決につながります。ですから「社会を変えていく手段」と言えます。

(2) ファンドレイジングのポイント

「財源」の成長のためには、支援者の共感を得る「事業」の成長、「事業」の成長を支える「組織」の充実成長が必要になりますので、「財源」「事業」「組織」の一体的な成長戦略が必要です。

ファンドレイジングは7つのステップで進めます。また、寄付をお願いする行為自体が社会課題の存在と解決を伝えることです。ファンドレイジングを行う理由を団体内で共有しておくことが大切です。

(3) タイプ別ファンドレイジングの学び方

基礎から実践まで様々な学び方、プログラムがあります。適したものを選んで取り組んでください。

◎事例紹介③ 中川 寛充 (なかがわ ひろみつ) 氏

サービスグラントのプロボノ支援は、相手の団体と一緒に (パートナー) になって取り組みます。団体の日常的な活動があって、数カ月の支援で活動基盤強化に役立つ具体的な成果物を作ります。

支援内容を分類すると、①運営改善、基盤強化 (助成金申請の進め方、ミッションの言語化等)、②事業・活動アップデート (事業アイデアの整理、活動マニュアル作成等)、③広報物・ウェブサイトの作成・刷新 (チラシ作成、ウェブサイト改修等)、④イベント・研修会のサポート (申込みデジタルツールの導入、オンライン研修会支援、講座の動画編集とアップ等)、⑤講師登壇・アドバイス、⑥翻訳・デザイン等 (英語文献の翻訳、防災マップのデザイン等) などがあります。

◆事例1: 運営業務を可視化したいという団体の事例。活動の進め方などが代表1人の頭にあって可視化されていませんでした。運営業務の一覧表を作成し、細分化した活動ごとに事前・当日・事後の業務概要と所要時間や回数を可視化しました。

◆事例2: 子ども食堂を行っている団体の事例。リピーターは多いものの新しい方の利用が伸び悩んでいたため、新しい利用者を増やすためのメッセージが伝わるチラシを3種類作成しました。

◆事例3: コロナ禍でも会員がつながり情報交換をしたいという老人クラブの事例。スマホを使っての情報交換ができるよう3回シリーズで使い方の講座を開催し、会員の1/3がラインでつながるようになりました。

◎トークセッション/交流タイム

(質問①) 自分たちの持っている課題を行政に理解してもらうにはどうしたらよいのでしょうか?

(中川) 社会課題となる前の課題ということもあります。子ども食堂もそうで、ひとつの事例から広まり、自治体も課題として認識するようになりました。事例を作って伝えていけば広まるのではないのでしょうか。

(質問②) 組織作りには小さい信頼を獲得することが大事とされていますが、ヒントはありますか?

(朝比奈) 例えば、助成金なら申請、実行、報告書までやるのがつながります。行政に支援策の有無等を尋ねると、新しい助成金との出会いがあります。

(岩元) 小さな信頼を作ることは、言い換えると小さな成功体験を積むことだと思います。助成金の場合では申請から、報告書までをやり遂げることだと思います。

(中川) 審査のポイントが公表されているので、具体的に説明できるようにしておいたり、審査通過に向けて適切な人を確保したりすることも大事です。

(質問③) 助成金等を受けている団体がこれらに頼らないようにするにはどうすればよいのでしょうか?

(朝比奈) 助成金の比率、自主事業収入の比率は団体などによって様々であり、最適のポートフォリオはケースバイケースです。行政の課題と自分たちの課題がシンクロしている場合などは助成金メインの方がいいこともあります。



参考資料①



参考資料②



中川氏



参考資料③



トークセッションの様子①



トークセッションの様子②

行政の課題とのシンクロ率は見せ方で変わります。活動や課題にはいろいろな顔があります。例えば、見方によっては多文化共生であり、高齢者福祉でもあり、そして両方とも本当です。助成金を申請する際にも相手が求めているものを書いて書くのがよいと思います。

(岩元) お金を貰うので「お上」と「出す側」になりやすいのですが、助成金を出す側はお金を出すことしかできません。NPOは、お金を出す側が持っている課題を解決するパートナーです。申請書はこの気持ちで書くといいと思います。助成金を取る時は自分たちへの投資のつもりで取ることが大事です。1つは成功事例を作るといことです。

受益者の声をしっかり収集し、周囲にも見せていきます。将来の事業収入や寄付金になる可能性があります。組織力を上げることにも使えます。助成金は助走金とも言われます。こういう意識を持って取り組むといいと思います。

(山下) 望ましいのは自分たちでお金を回していける、持続的な活動になることです。応援団体もいますから、課題を切り分けて相談したり、依頼したりするのがいいでしょう。センターでも応援団体につながることができます。



トークセッションの様子③



トークセッションの様子④

聴かせて
NPO!

✧ちょっと気になるNPO団体を紹介します✧

《NPO法人 Wake Up Japan》
～社会問題を自己責任で終わらせない～

私たちの意識や思考は社会にある価値観から影響を受けて形作られます。それ故に、「社会問題を自己責任で終わらせない」「一人ひとりが社会を変える力がある」という情報に触れる機会を増やしていく必要があると考えます。そのために、Waku UP Japanは、自己変容の機会や声を聞く機会、多様な人との話し合い・協働できる場の提供を行っています。

♪当センターで行われる「第185回市民とNPOの交流サロン」にご登壇いただきます♪
開催日時：2024年12月12日(木)18時45分～20時45分 ※是非ご参加ください。

参加方法：オンライン(詳細は<https://snponet.net>)
語り手：NPO法人 Wake Up Japan副代表理事
武蔵大学 非常勤講師
長川 美里 氏
参加費：無料

主催・問合せ：新宿NPOネットワーク協議会
【電話】03-5206-6527
【E-mail】hiroba@s-nponet.net
後援：新宿区

申し込みは
こちらから



NPOのためのホットな助成金情報

分野	助成金名	団体名	概要	助成金額	申請時期	QRコード
福祉 環境 まちづくり	社会貢献基金助成	(一社) 全日本冠婚葬祭互助協会	①高齢者福祉事業 ②障がい者福祉事業 ③児童福祉事業 ④環境・文化財保全事業 ⑤地域つながり事業(地域の様々なプレイヤーが連携して行う地域活力を高める事業)	上限額 200万円	10月1日～ 1月31日	
環境	エフピコ環境基金	(株) エフピコ	①環境保全活動 ②環境教育・研究 ③「食」問題解決・「食」支援に関わる活動	上限額 200万円	10月1日～ 12月23日	
環境	LOVE BLUE助成	(独) 環境再生保全機構	清掃活動など水辺の環境保全活動	HP参照	11月11日～ 12月2日	

センターからのお知らせ

講座

【ワークショップ講座①②】 ～ワクワク感と楽しさを体験しよう！～

【日時】12月7日(土)13:00～17:00

【内容】ワークショップは、ものづくり、研修、芸術の場など様々な場所で行われています。この講座では、ワークショップを実際に体験し、それぞれの現場に合わせてどんな場づくりの知識やスキルが活用できるか、そのノウハウを学んでいきます。

【講師】小笠原 祐司 氏(ミチナル/michinaru株式会社 プロジェクトファシリテーター)

【会場】当センター 1階多目的室

【参加費】2,000円(資料代等)

【定員】会場(先着順)20名 オンライン(Zoom)40名

講座

【Word Press講座】 ～Word Pressでホームページを作ってみよう！(入門編)～

【日時】12月21日(土) 13:30～15:30

【内容】イベント周知などNPO活動にはWebの活用は欠かせません。この講座では、初心者の方を対象に、世界中で活用されている無料ホームページ制作運営ソフト WordPressを使用して、団体の広報・PR活動を拡大するためのホームページ作成の基本を、体験学習を通して学びます。

【講師】山本 武彦 氏 (NPO法人粋なまちづくり倶楽部 理事)

【参加費】1,000円 (資料代等)

【会場】当センター 501会議室 ※オンライン参加はありません。

【定員】会場(先着順)20名※Wi-Fiに接続が可能なパソコンをご持参ください。

※詳細はHPにてご確認ください

【申込フォーム】

★参加ご希望の方は、電話、FAX、メールにて、下記お問い合わせ先へご連絡ください。

★講座・イベントは変更・延期又は中止する場合がございます。最新情報等につきましては、当センターHPをご参照ください。【URL:<https://snponet.net/>】



情報・お問い合わせ

TEL : 03-5386-1315

FAX : 03-5386-1318

E-mail : hiroba@s-nponet.net URL : <https://snponet.net>

Facebook : <https://www.facebook.com/shinjuku.npo.center>

アクセス

〈バスでお越しになる場合〉(いずれの停留所からも徒歩で4分)

- 各線 新宿駅 西口より関東バスで「小滝橋」下車 (乗車時間10分前後)
西口地下より標柱番号12・14を上った乗場から出るバス (すべて)
- 各線 高田馬場駅 早稲田口より都バスで「小滝橋 (郵便局前)」下車
(乗車時間5分前後) 早稲田口を出て目の前、高架下の乗場

〈最寄駅から徒歩でお越しになる場合〉

- 東京メトロ東西線 落合駅、西武新宿線 下落合駅より徒歩12分
- JR山手線・東京メトロ東西線・西武新宿線 高田馬場駅、JR中央線 東中野駅・大久保駅、都営大江戸線 東中野駅・中井駅より徒歩15分

作成&発行

新宿区立新宿NPO協働推進センター

指定管理者：一般社団法人新宿NPOネットワーク協議会
(〒169-0075 新宿区高田馬場4-36-12)

編集：嶺村 富士雄 林 幸靖 月岡 英人 國府田 明子



新宿NPO協働推進センターは、社会貢献活動団体のネットワークづくりの拠点施設です！

センターでは、社会貢献活動団体への施設の貸出しの他、相談や情報提供、講座等、さまざまな事業を実施しています。